

目 次

調査の概要	1
調査結果の要約	7
調査結果の解説	
1 男女の地位の平等感、男女の生き方	19
(1) 男女の地位の平等感	19
(2) 女性及び男性の望ましい生き方	25
2 家庭、結婚観	28
(1) 家事・育児・介護の負担割合	28
(2) 収入を得るための労働時間	33
(3) 自分の収入が世帯の収入に占める割合	34
(4) 家庭、結婚観	35
(5) 出生数が減少している理由	43
(6) 自分名義の資産の有無	45
3 子どもの教育	46
(1) 子どもに受けさせたい教育程度	46
(2) 人権や男女平等意識の育成のために必要なこと	48
4 職 業	50
(1) 仕事をしている理由	50
(2) 仕事を辞めた理由	53
(3) 女性が仕事を持つことに対する考え方	56
(4) 女性が働き続けるために必要なこと	58
5 介 護	61
(1) 家族の介護方法	61
(2) 自宅で介護する場合の主な介護者	63
(3) 自分自身の介護方法	64
(4) 介護を頼みたい相手	66
6 男女の人権	67
(1) 女性の人権が尊重されていないと感じること	67
(2) 男女が生涯にわたり心身共に健康であるために大切なこと	70
7 社会参加	73
(1) 参加している社会活動・地域活動の種類	73
(2) 女性の増加を望む役職	75
(3) 男女が積極的に社会参加していくために必要なこと	79
8 配偶者等からの暴力	84
(1) 「良い妻」に対する考え方	84
(2) 身近で配偶者から暴行を受けている人の有無	86

(3) 配偶者からの暴力に関する相談窓口の認知状況	88
(4) 夫婦間の暴力	91
(5) 夫婦間の暴力に対する警察などの公的機関の介入	109
(6) 配偶者等への加害経験	114
(7) 加害行為を行った相手	116
(8) 加害行為を行ったきっかけ	117
(9) 加害行為を振り返って	119
(10) 配偶者等からの被害経験	120
(11) 配偶者等から被害経験(この1年間)	124
(12) 加害者との当時の関係	127
(13) ケガや医師の治療を受けた経験	128
(14) 子どもによる目撃	129
(15) 子どもに対する暴力	130
(16) 配偶者等からの暴力についての相談経験	131
(17) 相談しなかった理由	133
(18) 配偶者等から暴力を受けたときに必要な助け	134
(19) 両親の暴力	136
9 地域の慣習等	142
10 自由意見・要望	147

付．調査票様式

本書の利用にあたって

本文及び図表中の回答者の比率は、百分比(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入してある。そのため個々の比率の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の質問では比率の合計が100%を超える。

図表中の「n」は回答者総数(該当者だけが回答する質問の場合は該当者数)のことで、100%が何人に相当するかを示す比率算出の基数である。

本調査と調査項目が同一または類似している質問について、前回調査(平成17年2月実施)結果及び国(内閣府)が実施した調査結果との比較を行った。文中及び図表中では、比較する調査結果を以下の様に表記した。

前回(平成17年)

男女共同参画に関する意識調査 福島県 平成17年2月実施
(調査対象:福島県内に居住する20歳以上の男女個人)

国(平成19年8月)

男女共同参画社会に関する世論調査 内閣府 平成19年7月~8月実施
(調査対象:全国20歳以上の者)